



第14回

関西体育授業研究会

公開授業 2 本、実践発表 6 本、
教材研修会
関西最大級の体育授業研究会

令和 7 年 1 1 月 2 2 日 (土)

9 時 0 0 分 ~ 1 5 時 4 5 分

受付 8 時 20 分から開始

参加費 2000 円 (学生 500 円)

場所 大阪教育大学附属池田小学校

テーマ 「令和時代における体育科授業力を考える～ 2つのゴール型ゲームの授業提案～」

令和時代にふさわしい体育科授業の在り方を共に考えませんか。

本研究会では、子どもたちの主体的な学びを促し、技能や思考力を育むための実践として、「2つのゴール型ゲームの授業提案」を取り上げます。

現場での指導実践を基に、授業づくりの工夫や課題を共有しながら、これからの体育科授業の方向性を探ります。子どもがいきいきと取り組む授業の実現に向けて、多くの先生方と共に学び合う機会としたいと思います。

申し込み方法

関西体育授業研究会ホームページにアクセスしてお申し込みください。(http://kantaiken.jp/)

複数人申し込まれる場合でも1人ずつお申し込みください。



関体研 HP



関西体育授業研究会

事務局 西岡 毅

お問合せ Email : kpes2009@gmail.com

ホームページ : <http://kantaiken.jp>

プログラム

第Ⅰ部 公開授業（授業① 9時00分～9時45分 授業② 10時00分～10時45分）

◆ 公開授業① 2年 ゲーム領域 「モモディ（タグカバディ）」

授業者 吉岡 克樹（大阪教育大学附属天王寺小学校）

助言者 米村 耕平 先生（香川大学）

「タッチして帰れるかな？」子どもたちはドキドキしながら鬼の動きを見ます。「今だ！」と感じた瞬間に走るスピードを速めたり、タイミングをずらして仕掛けたり、素早く切り返してかわしたり。鬼遊びの楽しさの中で、子どもたちの動きを高める授業を提案します。

◆ 公開授業② 3年 ゲーム領域 「にげ・パス・どん！！～速攻こそ爽快！！～」

授業者 澤田 崇明（大阪教育大学附属池田小学校）

助言者 梶井 大輔 先生（大谷大学）

ゴール型ゲームの速攻局面では、相手の守備が整う前に攻め込むことで得点につなげることができます。さらに、速攻局面は数的優位な状況かつゴール前に広いスペースがあることで、ボールを持たないときの動きが分かり易いのが特徴です。本単元では、速攻の必然性が生まれる教材を設定します。本教材がスペース学習の入り口として、今回学んだことが礎になり、今後のボール運動での深い学びに繋がる授業を提案します。

第Ⅱ部 教材研修会（11時10分～12時10分）①、②どちらか選んでください

① ゲーム領域 「モモディ（タグカバディ）」

② ゲーム領域 「にげパスどん！！～速攻こそ爽快！！～」

第Ⅲ部 協議会（13時00分～14時30分）

授業①、授業②について協議会を行います。どちらかの授業を選んで協議会に参加してください。

第Ⅳ部 ブース発表（14時45分～15時45分 ※30分交代制）

前半(A・B・C)3ブースから1ブース、後半(D・E・F)3ブースから1ブースを選んでください。

	発表者	内容
A	高松市立屋島西小学校 高山 祐市	「学習内容を獲得する過程においてこそ児童の非認知能力が向上する」という仮説から、全ての児童が学習内容を獲得し、一人一人がチームの中の大切な存在であることに気付く6年生ネット型の実践について提案します。
B	大阪教育大学附属平野小学校 大山口 辰也	子どもたちが主体的に運動に取り組む実践をつくりたい！そのような思いから2年生のボール運動遊び「追いかっこベースボール」を実践しました。2年生なりにベースを取り合う楽しさを味わえる教材を提案します。
C	摂津市立鳥飼北小学校 堀川 和哉	2年生で鬼遊びの実践をしました。「学習カード」を工夫し、自分やチームの動きをまとめたり、作戦を選んだりすることをとおして「主体的に学習に取り組む態度の育成」を目指した実践を提案します。
D	大阪市立本田小学校 前木場 龍太	6年生の表現運動でプレイキンに挑戦しました。できない、不安、恥ずかしい…そんな言葉を口にしていた子どもたちが、仲間に励まされ笑顔を取り戻し、やがて「やってみたい」「自分にもできる」と胸を張って表現できるようになった手立てを提案します。
E	香川大学教育学部附属坂出小学校 安岐 美佐子	共に学びを進め合い、全ての子供が「わかる」「できる」体育学習を目指して。教科の資質・能力の伸長を目指しながら、「自ら学習を調整する姿」が発揮される授業を模索してきた実践を提案します。
F	兵庫県たつの市立神岡小学校 加古原 岬 兵庫県宍粟市立山崎小学校 西村 隆宏	中学年でも運動遊び？ 3年生の幅跳びにおいて、低学年で経験してきた動きをもとに、遊びの要素を取り入れながら幅跳びの技能につなげます。運動遊びから運動への接続に着目し中学年体育の在り方について提案します。

急な変更があった場合は、HPにてお知らせいたします。ご了承ください。